



核酸医薬の研究開発を行うベンチャー企業への出資について

 三菱ガス化学株式会社

2017年8月1日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、核酸医薬の研究開発を行うベンチャー企業である、株式会社 Veritas In Silico（以下「VIS」）に対し、名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー1号投資事業有限責任組合（無限責任組合員 日本ベンチャーキャピタル株式会社）とともに出資を行いました。当社の出資額は2.5億円、持株比率は21.7%となります。

核酸医薬は、従来の低分子医薬や抗体医薬とは作用機序が異なり、主に遺伝情報の発現機構を直接阻害することで作用する医薬品です。病気の原因となる遺伝子を直接ターゲットにでき、副作用が小さく効能が大きい医薬品として期待されています。

VIS は、核酸医薬に関して今までにはなかった創薬プラットフォームを開発し、新しいタイプの核酸医薬を創製することを目標とするベンチャー企業です。VIS が開発中の創薬プラットフォームは、既存の核酸医薬開発手法の課題である、開発・生産コスト、および予期せぬ副作用の発現を克服した、今後のスタンダードとなり得る競争力のあるアプローチであると考えております。

当社は、中期経営計画「MGC Advance2017」において、今後進むべき事業領域の一つに“医・食”分野を定め、2016年10月にはライフサイエンス部を設置し、さまざまな取り組みを進めて参りました。バイオ医薬については、2014年にMGCファーマ株式会社を設立し、抗体医薬の開発受託事業をスタートしました。また、2016年6月には抗体医薬の製造受託を行う株式会社カルティベクスを設立し、2018年2月に工場の稼働を予定するなど、事業展開を加速しております。

核酸医薬についても、今後成長が見込まれる市場であること、創薬手法に化学メーカーである当社の知見が十分に生かされると考えられる分野であることから、将来的な事業参入を視野にVISと研究開発を進め、新たなブレイクスルーを実現していきたいと考えております。

当社は、本出資を通じ、VISとともに核酸医薬やその周辺事業への展開を図り、「医・食」分野のさらなる事業拡充を進めてまいります。

■VISについて

社 名： 株式会社Veritas In Silico

代 表 者： 中村 慎吾

事業内容： 医薬品、医薬品原料並びに研究用試薬の研究、開発、製剤、製造及び販売業

設 立： 2016年11月

資 本 金： 351百万円（資本準備金を含む）

持株比率： 中村 慎吾ほか個人3名計 69.6%

当社 21.7%

名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー1号投資事業有限責任組合

（無限責任組合員 日本ベンチャーキャピタル株式会社） 8.7%

所 在 地： 東京都渋谷区広尾5-25-8

W E B： <http://www.veritasinsilico.com/>

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL : 03-3283-5041